

## 駒止湿原山行報告

【山行日】 2014年 6月 25(水) 晴れのち雨  
【集 合】 栃木市運動公園駐車場 AM 6:00  
【費 用】 マイカー1台 : 4,000円  
【メンバー】 CL:鈴木、 福田々、 福田ヶ  
【コースタイム】栃木市運動公園 P6:00=駒止湿原 P8:05  
~大谷地入口 8:15~白樺谷地入口 8:50~  
水無谷地入口 9:00~水無谷地最奥 9:20~白樺谷地入  
口 9:50~駒止湿原 P10:40=ひめさゆり公園  
11:00/11:45=道の駅「きらら 289」12:00/12:40=道の駅「たじま」13:30=栃木市運動公園 P15:00



不安定な天気で福島県境が雨の予報で、帝釈山・田代山山行が中止となった。

何処か行けないか考え、以前から行きたくてもなかなか行くチャンスが無かった駒止湿原を思いつ



いた。時間的に厳しいが案内のメールを送ると、福田夫妻から参加の返事が届き計画書を作る。

小雨の中栃木市運動公園を出発し、駒止湿原駐車場へ7:50に着いた。上の駐車場はすでに車が満車状態で、かろうじてトイレ脇のスペースに止められた。立派なトイレがあり、地元の「駒止湿原を守る会」のテントがあり、本やパンフレットが置いてある。駐車場から湿原への入口に湿原保護の協力金を入

れる箱があり、各自100円を入れて出発した。

駒止湿原は3つの湿原(谷地)が連なっており、最初の大谷地は一方通行になっていた。

入口から10分ほど歩くと大谷地の入口に着く。大谷地は3つある湿原の中で一番大きい。

最初はヨシなどが生えているが、少し進むとワタスゲのじゅうたんにニッコウキスゲやレンゲツツジが彩りを添え素晴らしい。こんなに素晴らしい湿原だなんて知らなかった。「来て良かったね」とご機嫌で歩いていたが、これはほんの序の口だった。進むにつれヒオウギアヤメ、タテヤマリンドウ、ツマトリソウ、ヒメシヤクナゲ、ウラジロヨウラク等々の花が咲き乱れる雲上の楽園であった。

大谷地から開拓農道へ出て数分歩くと白樺谷地入口に着く。白樺谷地もワタスゲの群落が素晴らしく、3人で「凄い、凄い」の連発で本当に感動した。白樺谷地からブナ林を少し登り数分で最後の水無谷地に着く。ここは木道沿いに小川が流れ、流れに沿ってミズバショウが多い。ニッコウキスゲも3つの湿原の中では一番多く、まだつぼみが多かったが一週間後は見頃になるだろう。ワタスゲの群落も素晴らしく、レンゲツツジのオレンジがひとときわがえ渡り見事だった。途中のベンチで、花を愛で小鳥のさえずりを楽しみながらコーヒブレイク。入れたての熱いコーヒーが桃山の甘さを引き立てて絶妙。

至福のひと時を過ごし、水無谷地の最奥まで進み反対側の駐車場を確認し、来た道に戻る。

カメラを担いだ人達が大勢歩いてくるので、すれ違いが





大変だが皆さん笑顔で「ワタスゲが素晴らしいですね。」と声を掛けてくる。白樺谷地を抜けて開拓林道をそのまま進むと20分くらいで駐車場に着いた。ちょうどツアーのバスが2台入って来たので、急いでトイレを済ませ出発する。自然保護の指導員がヒメサユリも綺麗ですよと声を掛けてくれたので、高清水のヒメサユリ公園へ向かう。今日は平日なので一番奥の駐車場までは入り、入場券を買ってヒメ

サユリ園を見学する。

高清水自然公園のヒメサユリ群生地は、7ヘクタールに100万本のヒメサユリが自生する「日本一」の群生地。

入口から木道を進むとパッと視界が開け、一面にヒメサユリのピンクが広がる。

高原の風にそよぐヒメサユリの花は、とても可憐で美しかった。道の駅「きらら289」に寄り、美味しい蕎麦を食べ、車に乗ろうとしたら激しい雷雨。

午前中だけ晴れてくれ、本当にラッキーなお花見山行だった。

